



発行：京都府立峰山高等学校広報担当 所在地：京都府京丹後市峰山町古殿 1185 番地  
 Tel:0772-62-1012 Fax :0772-62-1013 www.kyoto-be.ne.jp/mineyama-hs/

## 平成30年度 入学式

春らしい晴天に恵まれた4月10日（火）、平成30年度入学式を挙行了しました。新入生225名（本校190名、分校35名）が入学許可を受け、希望を胸に高校生活の第一歩を踏み出しました。

校長は式辞で、峰高生となった今日の感動を忘れず、3つの教育方針に掲げた『真知に徹す』、『情操の洗練』、『健康の保持増進』を胸に、心豊かな高校生に成長するよう新入生に訓示しました。

新入生を代表して、井上創太さん（網野中出身）が、「学校の規則をしっかりと守り、誇りある峰山高等学校の生徒として、その本分を尽くすことを誓います。」と宣誓を行いました。

また、在校生を代表して、生徒会長の松見直弥さん（峰山中出身）が、「峰高は、新入生歓迎クラブ紹介、球技大会、峰高祭など行事が充実しています。新入生のみなさんと一緒にいろいろな行事を作り上げることを楽しみにしています。また、ボランティアや部活動に参加することで、自分を磨き、多くの仲間を作り、そしてともに成長していきましょう。」と新入生を歓迎することばを送りました。



校長式辞



新入生代表の宣誓



新入生歓迎のことば



## 新入生の抱負①



1年生担任の先生方

私は峰山高校産業工学科で将来のためにたくさんの資格をとりたと思っています。なぜなら、高校を卒業したら就職したいと思っているからです。また、友人関係もしっかりと築いてコミュニケーション能力を鍛えたり、人に信用してもらえるような行動を心がけたいと思っています。

私はボランティア活動に参加してみたいです。中学校でも生徒会本部に入り、ユニセフへの募金ということでアルミ缶回収を行っていました。峰山高校でやっている「陸前高田市図書館 夢プロジェクト」にもとても興味がありました。私はこういったボランティア活動を経験したり、使わなくなった文房具や日用品を寄附するというボランティアもしたいと考えています。この取組は改めてものを大切にする機会になると思います。このように生徒自身が大きく関われる、そして多くの人に興味を持ってもらえるボランティア活動をしていきたいです。

## 教育方針

教育スローガン（校是）

「求めてやまじ 高き理想を！」

教育方針

**真知に徹す**

〈真理を尊び、その探究に徹する態度の育成を目指す〉

**情操の洗練**

〈情操の涵養に留意し、円満な人格の完成を目指す〉

**健康の保持増進**

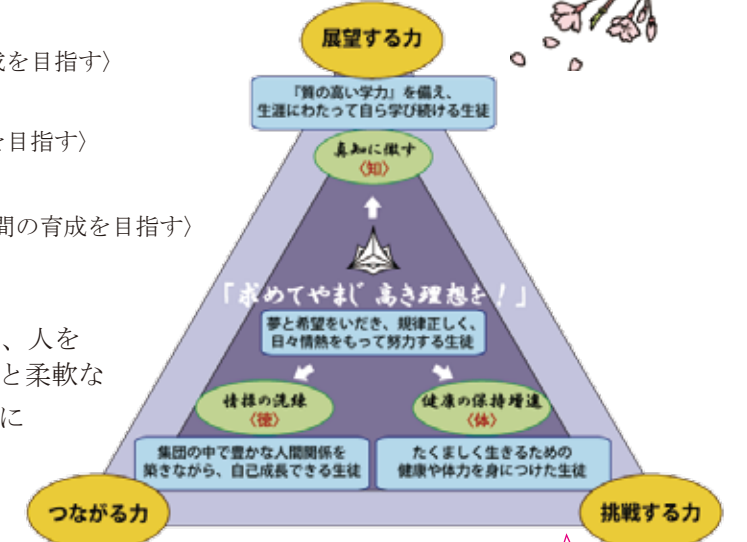
〈保健と鍛錬に努め、心身ともに健やかな人間の育成を目指す〉

教育目標

心身ともに健康で、礼儀と規律を重んじ、人を思いやり、郷土を愛するとともに、高い志と柔軟な国際感覚をもって自己を高め、創造力豊かに社会に貢献できる人間を育てる。

目指す生徒像

- ◇ 夢と希望をいだき、規律正しく、日々情熱をもって努力する生徒
- ◇ 「質の高い学力」を備え、生涯にわたって自ら学び続ける生徒
- ◇ 集団の中で豊かな人間関係を築きながら、自己成長できる生徒
- ◇ たくましく生きるための健康や体力を身につけた生徒



三角形の外側は京都府の府旗（赤紫色）、内側は峰山高校の校旗（紺色）をイメージしています。

## 新入生の抱負②

何事にも一生懸命取り組んで、高校生活を充実させたいと思っています。勉強・部活・行事・友人関係など、やらずに後悔することをなくしたいです。部活動などを適切にするのでなくて、一日一日を大切にしたらよかったとか、もっとあの時勉強しておけばよかったとか、行事などのリーダーをしておけばよかったなど、今まで後悔したことを高校ではなくしたいと思っています。



まずは友達をできるだけたくさん作りたいです。私は高校生活の何においても友だちが大切だと思うし、自分も周りからたくさんの刺激を得ることができからです。三年間でいろんな人と出会い、良い関係を築いていきたいです。また、自分がまだしたことのないことにも挑戦したいと思っています。これらを実現するためには、普段から積極的に行動すべきだと思っています。日々の高校生活を大切に、悔いなく、自分らしく、三年間の青春を思いっきり楽しみたいと思っています。将来の夢に向かって勉強も頑張ります。

高校生活で一番やりたいことは、海外へのホームステイに行くことです。理由は、英語を一から勉強したいのと海外の文化に興味があるからです。私は英語が得意ではないのでホームステイ先の人と楽しくコミュニケーションを取りながら海外の文化を学んだり、実際に自分で体験したいです。そのためには、英語を勉強する必要があります。だから、単語を覚えたり文法を覚えたりして基礎をしっかり身につけたいと思っています。

① 峰高生による峰山小学校出前授業『震災の記憶をつなぐ』

3月14日（水）午後 / 峰山小学校（5年生）

昨年11月に本校の有志の生徒により結成された「震災の記憶をつなぐ」チームのメンバーは、丹後大震災、阪神淡路大震災、東日本大震災について学んできました。そして震災について学んだ多くのことの中から、小学生に伝えたいことを選び45分の授業にまとめ、3月14日（水）に峰山小学校を訪れ5年生のみなさんに授業を行いました。最初は東日本大震災についてのお話。東北での被災地支援ボランティア活動や、福島の子どもたちを丹後に招待する「ふくしま子どもキャンプ」に参加した生徒が体験したことを話し、そして生徒会活動として5年前から毎年取り組んでいる「陸前高田市図書館ゆめプロジェクト」について紹介しました。次に23年前の阪神淡路大震災について、2月に神戸に行って学んできた様々な震災の記憶と、震災を伝える活動をする神戸の高校生や大学生と交流し学んだことについて話しました。最後に91年前の丹後大震災について、峰山町と峰山小学校の被害の概要を説明し、震災後に峰山小学校で歌われていた「慰霊祭の歌」と「震災復興歌」の歌詞を紹介し合唱しました。写真を見ながらのお話、絵本の読み聞かせ、地震の実験、歌の合唱など、授業が単調にならないようにいろいろな工夫をして授業を行うことができました。



地震で倒れにくい家とはどんな家なのか、倒れた家の中から人を救出する方法は…実験をとおしてみんなで考えました。

② 『歩いて迎える丹後震災の記憶』街歩き

3月18日（日） / 京丹後市峰山町 / 京丹後市と共催

丹後震災から90周年となった昨年度、本校の地学研究部は峰山における丹後震災の研究成果をまとめ『歩いて迎える丹後震災の記憶』街歩きマップを作りました。「震災の記憶をつなぐ」チームのメンバーが、この街歩きマップを使って案内し丹後震災の記憶を辿る街歩きを、京丹後市と共催し実施することができました。昨年度に引き続き2回目の開催となった今年度の参加者は約10名。参加していただいた方々は丹後震災のことや防災教育に興味を持っておられる方ばかりで、案内をした「震災の記憶をつなぐ」チームの生徒たちも多くのことを学ぶことができました。



街歩きのスタート地点である全性寺の境内に集合。防災の仕事をしている神戸の方にも来ていただきました。



震災記念館の中で震災画「逃げ惑う人々」を見ながら、工業学校（峰山高校の前身）生徒の作文の朗読を聞いています。



死亡率が44%と峰山で最も被害の大きかった呉服町で、高齢者の方にお聞きした震災の教訓を説明しています。

【生徒の感想】

本当に興味を持ってくださっている方々ばかりだったので案内はしやすかったと思います。中には私たちより詳しく知っておられる人たちもいらっちゃって驚きました。私はしょっぱなだったしあまり練習をする機会もなく本当に緊張してしまい、原稿を読むくらいのことしかできませんでした。それでもしっかり聞いてくださって、写真と風景を見比べる所などは「ああ！」などと言ってもらえてとても嬉しかったです。神戸学習や小学生の出前授業、街歩きに参加して、自分でも改めて丹後震災について知ることができ、それを他の人に伝えることができました。本当に参加して良かったと思いました。（1年・女子）



3月20日（火）に、「合格体験談を聞く会」を行いました。この春卒業し、国公立大学に進学予定の3名が、勉強と部活動の両立や勉強方法、それぞれの大学を選んだきっかけや勉強方法などを、自分自身の経験や失敗を交えて後輩に語ってくれました。在校生は真剣な眼差しで先輩の話聞いていました。進路実現に向けて頑張ってくれることを期待します。



相見風花さん（浜松医科大学）  
「小さなことでもいいので、先生に相談することが大切。」



小林 聖さん（滋賀大学）  
「面接では自分を出せることが大切。自分のできることをやり切る。」



栗野翔太さん（京都大学）  
「勉強時間が十分とれないとき、効率を重視した勉強方法を考える。」

新入生歓迎クラブ紹介

4月16日（月）新入生歓迎クラブ紹介を行いました。生徒会長の挨拶で幕を開け、各部毎に日頃の練習を再現したり、スクリーンを使ったプレゼンテーションやパフォーマンスで部活動をアピールしました。新入生は見学や体験入部を行った後、部活動に加入します。それぞれの目標に向かって充実した高校生活を送ってくれるよう期待しています。



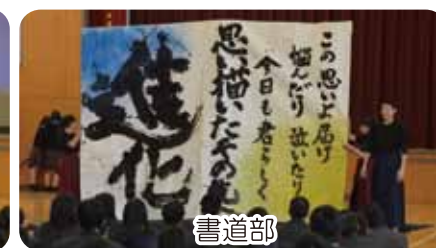
吹奏楽部



サッカー部



アニメーション部



書道部



少林寺拳法同好会



写真部



美術部



陸上部